

西多摩医師会報

1984年2月1日

136号

発行所・社団法人 西多摩医師会 東京都青梅市西分3-103
編集委員・菅井 義久 TEL (0428) 23-2171(代)
栗原 琢磨 斉藤 信幸 塩沢 永康
高木 直 堀田 洋夫 道又 正達 村山 正昭

国民の医療を破壊から守るのは誰か

国家財政が赤字だから行政改革が必要→だから医療費削減も仕方がない→医療経済環境は冬→寒いがじっと耐えて→生き残る事を考えよう。

医師会の組織率が低下している→医師会の社会的発言力が弱まった→社会的な医師の評価基盤が下落した→数を増やそう→勤務医を組織して→パワーアップを図ろう。

「武見以後」の医師会活動から様々な夾雑物を除くと、上の図式の様にパターン化されるのではないだろうか。

キャッチフレーズは次々と打ち出された。「開かれた医師会」「対話と協調」「リバイバルでなくサバイバル」「勤務医の組織化」等々。だが、国家財政が赤字なのは何故かという検討が抜け落ちてはいしないか。医師に対する社会的評価が下落したのは何故かという検討が抜け落ちてはいないか。医師会の社会的発言力が弱まったのは何故かの検討が為されたことがあるか。

会員の組織率が低下したのは何故か。それらの事に対する真剣な検討を欠いたリバイバル論議や勤務医組織論は必ずしも実を結ばないだろう。

行政改革の名の下に、国民の最も弱い層に多大な犠牲性と強制を押しつけながら国家予算が圧縮されつつある。中でも医療と福祉はもっとも抵抗の小さい分野として「圧殺」のターゲットにされた。いま、医療を取り巻く環境が「冬」だとする

認識は正しい。しかし、この「冬の季節」はいつまで続くのか。「じっと耐えていれば」そのうち春になるのは自然の季節にのみあてはまることであって、医療の「季節」は人為的、人工的である。

国民の抵抗がなければ、国家はいつまでも季節を冬にしておくことが可能である。一人ひとりの国民は抵抗しにくい。個々人の置かれた状況がそうさせている。医療と福祉が「行革」のターゲットにされたという事は、まさしく国民の日常生活そのものが「行革された」ことに等しい。

医療と福祉に限定すれば、国民のレジスタンスをリードする義務と権利と能力を保持しているのは他でもなく医師会ではないだろうか。

医師会の扉は自民党や政府、官僚に対してではなく、国民に対してこそ開かれなければならない。国民と対話し協調しなければならない。国民と共にサバイバルを考えなければならない。

権力者に癒着したり迎合したりして自らの権益を守ろうとする方式は大多数の国民の響きを買っていないと見なければならぬ。国民の医療と福祉と生活防衛のための抵抗運動の先頭に医師会が立つ時、はじめて国民の医師に対する信頼が生まれるのではないか。「常に国民と共にある医師会」の定着こそ、医師会の発言力と評価を向上させ、組織率をあげ、結果として「冬」を克服する事ができる。その逆ではない様に思われる。(堀田)

内臓疾患と皮膚症状

S 58. 11. 11 (金)

北里大 皮膚科教授
西山 茂夫先生

貴重な症例約 200 例をスライドで供覧して、そのポイントをクリアカットに、立板に水を流す如く講演なされ、質疑応答も活潑で、我々一般開業医に大変役立つ、素晴らしい有意義な会であった。

内臓疾患がどのように皮膚に現れて来るかを紙芝居的に話します。

- クモ状血管腫→肝硬変・ウイルソン病・妊娠・
- 紙幣状皮膚(ダラースキン), 手掌紅斑→肝疾患
- ◎痒疹(Prurigo)はなればなれに大変かゆい丘疹ができ、虫刺や食餌の過敏により起るものだが、中年以後は、内臓の代謝異状によって起こるもので重要である。ステロイド剤や抗ヒスタミン剤に反応しなかったら、内臓疾患を考えよ。→慢性肝障害、腎不全、妊娠、リンパ系の悪性腫瘍が多い。好発部位でない顔に出ると白血病
- 黒なまず(カビ)→カッシング症候群
- 白なまず→甲状腺機能亢進症、自己免疫異状で出て来る。
- ◎あみの目紅斑、血管自体か血液の流れの異状がある時に出て来る。現在内臓疾患なくとも将来出て来る。→グロブリン血症、動脈硬化症、食道癌、膠原病(SLE, PM, PN,)、粘液水腫、
- 環状紅斑→リウマチ熱・腸胃障害、内臓癌、
- ◎多型滲出性紅斑→膠原病、内臓悪性腫瘍
- ◎蕁麻疹 じんま疹とは少しちがって2~3日発疹が消えないで、消えたと思ったら又出て来る時には、内臓疾患を考えよ、肝疾患を疑って肝機能検査をしても異状が出ないが、2週間後位に再検査をしたら異状が出ることもある。他の医療機関で検査をして異状がなかったとの申出があった時も再検査をしたら異状が出て、内臓疾患を発見することがある。但し、HB肝炎は、初期に蕁麻疹に似た皮膚、関節痛、を併せて出る。
- 皮膚の色の変化→ヘモクロマトーシス・カロチン血症→悪性貧血、PSS、(皮膚の場合・進行性強皮症)、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下

症・糖尿病。

- 循環障害、下腿伸側にマイクロアングリオパチー、リポイド類壊死症、→糖尿病、
 - 感染症 特に後頭部のはえ際の癬→糖尿病
 - 皮膚がかゆくて色がおかしい→膀胱癌
 - グルカノーマ症候群→膀胱癌、
 - ヒポクラテス爪→肺癌
 - ◎皮膚の紫斑 普通出ない部位 色調が普通と違う場合→白血病、口腔粘膜にも注意
 - ◎黒色表皮腫(Acanthosis nigricans)を見たら内臓に癌があると考えよ。→胃癌、例えば、男性で女性乳房で黒色表皮腫を見れば、前立腺癌である。
 - 老人性イボの多発→胃癌、乳癌(グレラー症候)、甲状腺癌
 - 皮膚の角化異状→子宮癌、肺癌、悪性リンパ腫、多発性リンパ腫、魚鱗癬→胃癌
 - 皮膚筋炎→胃癌、乳癌、卵巣癌、悪性リンパ腫、ホジキン病、肺癌
 - うぶ毛が長くのびて来る。→肺癌、膀胱癌、
 - 帯状疱疹→汎発性、重症の時、及び老人の時は入院して、内臓も検査するように、→卵巣癌、食道癌、悪性リンパ腫、全身状態に注意する。
- 皮膚科の専門医は「だまって坐れば、ピタリと当てる。(全身をよく見て)」と話されたが、我々一般開業医も あゝ湿疹だ、じんま疹だと簡単に考えずに、隅なくよく見て、発疹の出かた(部位、色、形等)経過、薬剤の効果が普通と違う時には 内臓疾患を考えて、早期に病原を発見するように心掛け努力すること、わからなければ、専門医に早期にお願いすべきであることを学んだのである。「皮膚は内臓の鏡である。」 以上
- ◎項目、◎は特に重要

(文責 塩澤永康)

135号(1984.1.1)鼎談について 訂正とおわび

山田 肇、近藤正哉のような校正不良があったほか、記述に不適当なところがあり深くお詫び申し上げます。

誤った部分のうち特に事実に即していないところを訂正説明致します。

(3頁右23行目) 羽村氏の名は源一です。

(4頁左21行目) 大越先生の亡くなったあとに戦後田中外科ができて、田中先生が亡くなったあと、そこに総合病院にいた福島君一勝沼の浅見ガソリンスタンドのおむこさん一が開業したという話です。

(4頁左31行目) 大越先生に息子さんがいて山田先生より一年上だったという話です。

(4頁右14行目) 石森先生は名古屋大学の勝沼内科の出身だということ。

鈴木隆之助先生でなく鈴木達三先生が少尉

で召集されたということ。

(5頁左下から2行目) 北島太一でなく多一。

(5頁右24行目) 1点単価が8銭, 9銭になっていたのは健保がはじまって以降昭和10年代でもそうだったということ。

(6頁左32行目) 氷川の先生名は川内先生、平岡先生のおじさんは雨沢でなく天田。

(6頁下から3行目) 横田先生の名は寿照。

(6頁右1~5行目) 今の栗原先生の父の正吾氏がおり、戸倉にはその兄の憲武氏がいた。五日市には今川先生の父がいた。

益子とあるは増戸で坂本先生の名は富雄。

(8頁右6行目) 羽村君はレセプトをリュックにつめて毎月東京まで持っていった、立川ではない。

診療報酬明細書返戻状況

西多摩医師会

11月分

	返 戻 理 由	医科(乙表) 件 数
1	保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、公費受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	62
2	旧証の記号○番号	0
3	患者名、生年又は生年月、転帰のもれ	8
4	傷病名のもれ	1
5	診療月分、診療開始日、診療実日数のもれ	2
6	診察料(初診、再診、往診、指導日又は時間外等の表示)のもれ	4
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	11
8	診療実日数と診察回数又は処方回数の不一致	13
9	投薬○注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備	8
10	処置○手術○検査○X線(薬名、回数、内訳)の不備	2
11	入院料の不備	1
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	1
13	契約外(国保、国鉄、公費)	4
14	症状説記(診療内容及び方針の説明等付せん参照)	8
15	申し出によるもの	0
16	その他	5
	計	130

理事会報告

昭和59年1月理事会

昭和59年1月25日(水)

P. M, 7.30～

西多摩医師会館

議事録署名人 川 辺理事
木野村理事

I 報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告
三多摩地区医師会長協議会報告
瀬戸岡会長
 - 昭和58年12月15日足立区に発生したコレラの終息について(資料あり)
 - 昭和58年度東京都医師会学校医研修会について(資料あり)
 - 最近の医療状況について(資料あり)
中央社会保険医療協議会報告
 - 国民健康保険者証の更新について
(資料あり)
 - 東京技芸国民健康保険組合の事務所所在地の変更について(資料あり)
 - ファクシミリシステムについて(資料あり)
 - 病院診療所等における火災予防対策の推進について(資料あり)
 - 准看護婦再教育について(資料あり)
2. 東京都老人保健事業調査委員会委員推薦について(西村副会長をすいせん)
3. 各部報告
広報部(堀田理事)
学術部(塩沢理事)
保険部(木野村理事)
福祉部(植田理事)
公衆衛生部(松原理事)
学校医部(東 理事)
4. その他
 - 東京都老人保健事業調査委員会報告
西村副会長
 - 都苦情処理委員会報告
江本副会長
 - 互選理事について
南部ブロック 栗原琢磨
東部ブロック 森 和胤
西部ブロック 未 定

II 協議事項

- (1) 学術研究会用テレビ、ビデオデッキ購入について(塩沢理事提案) — 全員承認 —
- (2) 職員給与(ベースアップ)について
(中村理事説明)
昨年度不足分を勘案し7%を上限として予算を組みたい。 — 全員承認 —
- (3) 2月,3月の行事日程について(大塚理事)
〔2月〕8日理事協議会
15日総務会
22日定例理事会
 - 58年度各部事業報告
 - 59年度各部事業計画
 - 59年度各部予算案
 27日経理部会(59年度予算編成)
〔3月〕3日選挙告示
8日互選理事、病院理事届出締切
8日理事協議会切替理事会
14日立候補届出締切
14日臨時理事会、総務会
(選挙管理事務)
17日総会資料配布(立候補者一覧表を含む)
21日定例理事会(正副議長出席)
24日(土)定時総会(P, M, 2,00～)
— 全員承認 —
- (4) その他
 - 表彰規定内規(案)
1. 会員の表彰に関するもの
 - (1) 会長経験者、副会長二期以上若しくは役員及び議長副議長、医道審議会委員10年以上経験した者
 - (2) 委員会委員等で顕著な功績があり理事会の推薦を得た者
 - (3) その他定款第一章第四条の事項及び地域医療、医師会活動に顕著な功績があり医師会の名誉を高め理事会の推薦を得たもの
 - (4) 当医師会入会后10年以上経過し70才に達した者
2. その他の表彰に関するもの
 - (1) 医師会事務職員で10年以上勤務し理事会の推薦を得た者
● 入退会会員 — 全員承認 —
(医師会日誌欄参照)

会員紹介

(自己紹介欄は
原文のままです)



伊奈診療所(五日市町)
木村 隆先生
昭和9年7月7日生
東京医科歯科大学
医学部卒(昭和35年)

家族構成

妻 康子 46才
長男 伸俊 19才 山梨医科大学
長女 奈都子 15才 学習院女子中等科
次男 善英 12才 学芸大学附属小金井
小学校



戸倉診療所(五日市町)
黒田雅信先生

家族 妻
趣味 庭づくり
テニス
音楽



湯川医院(日の出町)
湯川文朗先生

家族
母
妻
子供 長女 11才
長男 9才
犬 1頭



山口外科医院(福生市)
山口太平先生

1. 家族 独身
2. 趣味 麻雀・釣り
3. 健康法 ドライブ
4. コレクション 無し



渡辺良友先生(35才)
千葉大学 昭和49年卒

家族構成 妻 美ふみ 35才
長女 阿美 8才
次女 有子 4才
妻の母 有馬智寿 62才

趣味 スキー・ピアノ

59年1月より福生 箱崎先生の後を継ぐことになりました。今後ともよろしく願い申し上げます。



窪田医院(羽村町) 窪田 勇先生

- 1. 家族 妻 嘉寿子 家族8名
- 2. 趣味 庭の手入れ
- 3. 生活信条 安岡正篤先生を師と仰ぐ、足腰の鍛練として真向法体操、1日2食
- 4. コレクション 格別なし

河野医院(羽村町) 河野公信先生

- 1. 家族 妻 岐子 家族6名
- 2. 趣味 読書
- 3. 生活信条 忍耐、努力、前進、笑い
- 4. コレクション 城の文献

同好会だより

第39回西医ゴルフ研修会

昭和59年1月21日～22日(日)

川奈G, C(富士コース)

出発時には粉雪が舞い、目的地にたどりつけるかどうかすら危ぶまれた天候でしたが、さすがに伊豆は暖かく、雪のユの字も見当らず、風が多少強かったものの、まずは絶好のコンディションの下で行なわれました。

内山淳子様、優勝おめでとございました。

今回は大河原、内山、大嶽の3組の御夫妻が参加されましたが、いずれも女性上位の成績であったという事は……?。前夜のナニがナニしたのかな。いやいや、きっとおやさしい旦那サマ達なのでしょう。

なお、今回の研修会につきましては、宮川先生に多大な御尽力を頂きました。感謝致します。

	O	I	G	HD	N		新HD
内山(淳)	51	55	106	31	75	優勝	25
宮川	41	44	85	9	76	2	8
高水(文)	41	42	83	7	76	3	
藤田	45	45	90	12	78	4	
大嶽(紫)	51	53	104	25	79	5	
内山(大)	44	48	92	12	80	6	
高水(武)	52	51	103	22	81	7	
大嶽(栄)	43	49	92	9	83	8	
杉本	48	56	104	17	87	9	
足立	47	56	103	16	87	10	
大河原(鏡)	62	67	129	36	93	11	
指田	50	52	102	9	93	12	
大河原(周)	58	60	118	24	94	13	
堤	56	61	117	22	95	14	
川崎	63	60	123	26	97	13, 13	
笹本	67	64	131	24	107	16	

あ と が き

サウナ風呂の中は、いつもなら見られない小さな子供達も含めて、まさに肌と肌の触れ合うほどの超満員であった。今冬五日市あたりでは連夜氷点下10度ちかくを記録し水道管が破裂したりして家で風呂に入れない人々が、この都営のサウナにどっとおし寄せからである。即席の浮世風呂ができあがり健康談義など話題が楽しい。

そう言えば今年の夏は9月に入っても猛暑が続き記録的な暑さだった。自然はどこかでちゃんと帳じりを合わせるというので、この寒さはそのお返しかも知れない。

医療界は冬の時代に入って久しい。そろそろこの辺で陽光を望みたいがこればかりは自然を相手のようにじっと耐えているばかりでは春のほうからはやっこないだろう。 栗原 記

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL0428-22-2121)

奥多摩支店 (TEL04288-3-2515)

福生支店 (TEL0425-51-1021)

村山支店 (TEL0425-61-1211)

五日市支店 (TEL0425-95-1311)

高田東栄薬品株式会社

国立営業所

〒186 / 国立市富士見台3-2-5 / 電話 0425 (75) 5200 (代)

本社 〒111 / 東京都台東区鳥越2-13-8 / 電話03(866)4251(大代表)

浅草営業所 〒111 東京都台東区鳥越2-13-8
電話 03 (866)4251(大代)

大塚営業所 〒170 東京都豊島区北大塚2-16-8
電話 03 (917) 0111 (代)

世田谷営業所 〒150 東京都世田谷区弦巻1-1-12
電話 03 (424) 1321 (代)

足立営業所 〒123 東京都足立区梅田7-23-10
電話 03 (880) 6311 (代)

平井営業所 〒124 東京都葛飾区西新小岩3-25-17
電話03(692)2141代・(696)8761代

大田営業所 〒143 東京都大田区南馬込5-29-3
電話 03 (777) 6141 (代)

豊玉営業所 〒176 東京都練馬区豊玉北1-1-20
電話 03 (993) 3331 (代)

千葉営業所 〒280 千葉市都町1-20-17
電話 0472 (32) 2521 (代)

松戸営業所 〒270 千葉県松戸市小金原9-34-1
電話 0473 (44) 1285 (代)

大宮営業所 〒330 埼玉県大宮市吉野町2-234-1
電話 0486 (66) 2351 (代)

深谷営業所 〒366 埼玉県深谷市東方3516
電話 0485 (71) 2171 (代)

狭山営業所 〒350-13 埼玉県狭山市新狭山1-5-8
電話 0429 (53) 9261 (代)

越谷営業所 〒343 埼玉県越谷市神明町2-1
電話 0489 (66) 5353 (代)

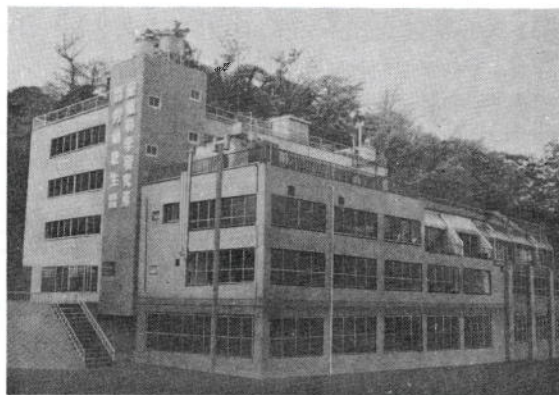
病院部 〒111 東京都台東区鳥越2-13-8
電話 03 (866)4251(大代)

特販部 〒111 東京都台東区鳥越2-13-8
電話 03 (866)4251(大代)

臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106
電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17
電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
- 関係医療機関 約 3,500ヶ所
- 広範囲な検査内容
 - 内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

| 都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。